

はじめに

奈良教育大学には、教育組織として、教育学部、大学院教育学研究科及び特別支援教育特別専攻科があります。

教育学部に附属する施設として、教育実践総合センター及び自然環境教育センターを有しております。前者は、平成 12 年度、附属教育実践研究指導センターの改組により、大学の教育・研究及び地域の教育機関との連携の役割を担う中核的な組織に拡充されました。後者は、奈良実習園と奥吉野実習林を有し、まさに今日求められる環境教育を実践し、地域との深い絆を持った活動を展開しております。

大学に附属する施設としては、学生・教職員の健康増進のための指導・助言・診断等を行う保健管理センターがあります。また、図書館部門、情報基盤部門及び研究開発部門の 3 部門で構成され、図書館、情報館及び教育資料館を運営する学術情報研究センターを平成 18 年 3 月に設置しました。さらに、特別支援教育に関わる理論と実践の総合的教育と研究を行う特別支援教育研究センターを平成 19 年 3 月に設置しました。それぞれのセンターは、大学の教育・研究・社会との連携等の活動に対して欠かせない役割を果たしております。

また、大学には附属中学校、附属小学校及び附属幼稚園の 3 つの附属校園があります。附属中学校は昭和 22 年、附属小学校は明治 22 年、附属幼稚園は昭和 2 年開設と長い歴史と伝統を有し、学生の教育実習の場として、かつ教育実践・研究の場としての重要な役割を果たして参りました。

平成 12 年度に、それぞれの附属施設、附属校園が自己点検・評価を行い、大学全体の中での役割・使命・意義を明らかにしました。平成 16 年度の国立大学法人化に伴い、今回、あらためて各組織に自らの存在意義を問い直すという真摯な自己点検・評価を依頼いたしました。今後の大学改革の一環として、作成されました本自己評価報告書での成果と課題を踏まえて、各組織が更なる充実・発展に努力すべきと考えております。この報告書に対し、学内外より忌憚のないご提言・ご指導をお願い申し上げます。

平成 20 年 3 月

国立大学法人奈良教育大学

学 長 柳 澤 保 徳